

## 女性の視点を生かした地域づくりを

「社会資本整備を考える さくら湖女性の集い」開催

三春ダムでは、女性層を主な対象に、今後の社会資本整備のあり方などについて考える「さくら湖女性の集い」を11月30日（土）、三春町自然観察ステーションで開催しました。

女性の意見を生かしたダムの活用などについて、広く意見をお伺いし、今後のダム管理のあり方の参考にさせていただくという初の試みでした。当日は、「大滝根川流域勉強会」や「さくら湖自然教室」の参加者を中心に、様々な職業・年齢の女性約40人が参加して下さいました。



はじめに、岩手県出身の直木賞作家である、三好京三氏による「地域とともに生きる」というテーマでの講演が行われました。

伊達政宗の正室だった愛姫が、三春出身という事で始まった講話でしたが、三好氏が以前勤務されていた「僻地」の分校での子供たちのお話や、三好氏が会長を務めておられる「北上川倶楽部」の地域づくり活動などのお話に、熱心に耳を傾ける姿が見られました。また三好氏の岩手県訛りのジョークに、笑い声も交えつつとても楽しい講演でした。



「北上川倶楽部」の地域づくり活動などのお話に、熱心に耳を傾ける姿が見られました。また三好氏の岩手県訛りのジョークに、笑い声も交えつつとても楽しい講演でした。

ティータイムに続いて行われた「フリーディスカッション」では、伊藤三春ダム管理所長が「三春ダムの現状と課題」について説明を行いました。続いて、三好氏を囲んで「さくら湖の利用について」や「三春ダムの良い点・悪い点」また「さくら湖には何が足りないのか」などについて女性の視点からの率直な意見が述べられました。

商工会女性部の、米のとき汁を利用したEM菌についての意見や、地域と行政、広報・広聴活動の大切さなど、様々な意見が飛び交い白熱した「フリーディスカッション」



でしたが、最後に三好氏から「こんなに様々な活動を、身近な所で実践している女性達のお話をお伺いし、今日は本当に驚きました。ぜひ私も実践してみたい」というお言葉

と、「このような集いをまた来年も開催しましょう」という伊藤所長による閉会の言葉で会は無事終了いたしました。

また終了後、受付で配布されていたアンケートの回収と、三好氏の最近の著書「沈床」などが販売され、数分で完売となる大盛況となりました。



皆さんから頂いたアンケートの一部をご紹介します。  
・下水道（水環境の浄化）に力を入れて欲しい。  
・地域での活動をもっと積極的に支援して欲しい。  
・地域の声を聴く場をもっと設けるべき。  
・2輪車や歩行者（障害者）にやさしい道路を。など  
たくさんのご意見ありがとうございました。

今回初の試みで開催した「社会資本整備を考えるさくら湖女性の集い」でしたが、皆さんから頂いたアンケートやご意見を反映させた地域づくりを実践していきたいと考えております。来年もまた開催する予定ですので、どうぞよろしく御願致します。

### 管理所より参加したメンバーの感想

- ・あっという間に変化していく風景に「便利だけを求めてよいものか」疑問を抱いていた私にとって、変化の内容によっては「幸せ」をもたらす事だと気付かされました。今の「幸せ」が未来の「幸せ」の経過点になるよう努力していきたいと思えます。（総務係 柳内光代）
- ・これから結婚、出産を経験する（であろう）身としてとても興味深く、また楽しく聞く事が出来ました。（管理係 菅野里奈）
- ・三好先生の講演が、とても面白く勉強になりました。商工会婦人部の方々の活動（米のとき汁を発酵させて作るEM菌）など色々学ぶことが出来ました。（電気通信係 深谷志穂）

### 資料館より参加した方の感想

- ・どんな僻地でも、良い環境があり、温かい人情がある。自分の足下を、しっかり見る事も大切だと思いました。また、もっと沢山のの人に資料館の存在を知って欲しいと思います。（三春ダム資料館売店“フォル” 遠藤陽子）

## さくら湖の水をきれいにするためには？

三春町立沢石中学校へ出前講座

さくら湖の水質などについての説明をする佐々木水質係長→



11月19日（火）に三春町立沢石中学校で、佐々木水質係長を講師とする出前講座「さくら湖の水質と水をきれいにする工夫」が行われました。これは、沢石中での技術・家庭科の授業における「環境にやさしい暮らしの工夫」の一環として、さくら湖の水質に関して学んでみたいという相談があった事から実現したものです。講座は、ダム の位置や役割・さくら湖の水質・流入河川の水質・水をきれいにするための対策など、盛りだくさんの内容でしたが生徒の皆さんはとても熱心に聴講していました。

## 火災の怖さ、初期消火の大切さ

消防総合訓練を実施しました

当管理所の防火訓練が去る、11月14日（木）に管理所の構内で行われました。この訓練は、三春ダム管理所や資料館で発生した火災に、迅速かつ適切に対処が出来るよう、通報訓練、消火訓練、避難訓練を行い防火意識の高揚などを図る事を目的に実施されたものです。

訓練は、119番への通報訓練や消火器操作訓練、また消火栓による放水訓練等が行われました。

普段消火器や消火栓を使う機会は少ないのですが、実際に消火の訓練をしてみて火災の怖さや初期消火の大切さを認識しました。

訓練終了後、船引消防署三春分所の職員の方に講師になっていただき、通報の仕方や初期消火の重要性を説明していただきました。



防火活動や避難活動については、訓練時だけでなく普段から危機意識を持って、慌てずに対応していきたいものです。

## 第2回 管内技術研究発表会

管理所からは矢倉技官(管理系)が発表しました

平成14年11月19日（火）～20日（水）に、宮城県仙台市内で「第2回管内技術研究発表会」が開催されました。

本研究発表会は、東北地方に点在する国土交通省の事務所、自治体、公団等が新技術、コスト縮減、また環境、地域づくり等についての成果研究の発表の場あり、発表論題は100題を越えていました。

三春ダム管理所からは、管理系の矢倉技官が「三春ダム下流河川における土砂供給試験について」という題目で、実験を行った中間報告を発表してきました。



←土砂供給試験についての研究発表をする矢倉技官

発表にあたっては、解りやすい言葉で聴講者に理解をして貰いたいという姿勢を全面に出して発表し、会場からの質問にも的確に答えていました。

本発表では、残念ながら賞は逃したものの（執筆者から見れば入賞間違いなしの発表だったのですが・・・）会場で聴講している方の関心が高い事が伝わってきました。

## 矢倉技官の感想

発表会では、各発表者の発表技術が非常に高く、自分自身にとっては、発表方法等非常に参考となりました。今後、技術開発や地域づくりのための業務を進めていくためにも参考になりました。



# 『自然』～大滝根川流域の地質～

講師 応用地質株式会社 東北支社  
支社長 成田 賢 氏



第12回大滝根川流域勉強会が、大滝根川流域の地質というテーマで、応用地質株式会社東北支社長である成田氏を講師に迎え、11月22日（金）に開催されました。

成田氏は三春ダム建設に携わっていた経緯もあり、流域の地質状況に非常に詳しいことから、大滝根川流域がどのような課程をもとに形成されたのか、などについて分かりやすく講義を進めて下さいました。

内容としては、流域の阿武隈台地は地形形成の過程で、郡山市を境に火山性の山や活断層は存在しない良質な地質構成であり、耐震性にも優れた非常に安定した地域であるのだそうです。しかし、風化が進んでマサ土の層が厚く、特に硬い部分と柔らかい部分が混在

し、切土すると不安定になるという事も話されていました。また、三春ダムサイトは基礎岩盤が非常に良質で、ダムの基礎としては日本一であるとの事でした。

フリー討論会では、大越町や滝根町にある石灰岩帯はどうして出来たか、地質と水質との関わり合いはどうか、火山帯でもないのに大滝根山のように、1,000mを超える高い山があるのはなぜか、など成田氏への様々な質問や活発な意見交換が行われ、充実した流域勉強会となりました。



**大滝根川流域勉強会は、  
どなたでも参加出来る  
勉強会です。  
お気軽においで下さい。**

## 全国一斉防災無線点検の実施について

三春ダム管理所では11月18日（月）から21日（木）の4日間、三春ダム管理所が運用する無線局の総点検を行いました。

この点検は非常災害時における通信や、放送の確保のため、無線設備に故障等が無い点検を行う「一斉総点検」に基づいて行われるもので、10月1日（火）からの2ヶ月間がその期間に位置付けられており、全国一斉に無線局の点検が行われます。

三春ダム管理所では、大滝根山の雨量情報や大滝根川の水位情報を収集する設備や、放

流警報装置などが無線回線で制御されています。例えば、ダムより放流を行う際には、三春ダム管理所にある放流警報操作卓を操作することでダム下流の放流警報所の機器を制御し、警報を鳴らします。（警報用のスピーカーは人物（170cm）と比較すると分かりますが、非常に大きな物です）



「水位観測所」



「放流警報所」



「放流警報操作卓」



「警報用のスピーカー」

点検はこれらの装置のアンテナの取り付け状況や、無線装置の状況等を点検してきました。その結果、全ての設備において故障等が無いということを確認し、点検を終えることが出来ました。

## 11月のダム見学者

- 11月 5日(火) 船引町立柗山小学校 7名
- 11月15日(金) 都路村立岩井沢小学校 14名
- 11月19日(火) 三春町立沢石中学校(講師派遣) 40名
- 11月20日(水) 郡山市立薫小学校 105名
- 11月26日(火) 古殿町立大原小学校 17名



柗山小学校の皆さん  
かわいいお手紙  
ありがとう!



## ダム資料館からのお知らせ



大好評!  
新メニュー「さくら湖セット」  
アップルパイ(ソフトクリーム付)  
&コーヒーのセットです。

## 子犬や子猫を捨てないで!

三春ダムに限った事ではありませんが、川や山に捨てられた子犬や子猫の姿を見る事があります。生まれて間もない子犬や子猫が、段ボールに入れられ鳴いている姿は見るに忍びません。避妊&去勢手術をするのが、飼い主の義務(思いやり)なのではないでしょうか。捨てられて病死したり、処分されていく子犬や子猫をかわいそうだと思いますか? 子犬や子猫の命は動物だから軽いものなのでしょうか? 避妊&去勢手術には、ストレスが減って長生きをする、性格が穏やかになる、などのメリットもあります。かわいそうな子犬や子猫を増やさないためには、飼い主のあなたの決断にかかっている事を忘れないで下さい。

## 自然観察イベントからのお知らせ

- 12月15日(日) 凧をつくってみよう  
“凧つくりだけでなく、凧があがる仕組みや季節風が吹くわけも勉強します”
  - 12月21日(土) 12月の星を見る会  
“M45パリアテス星団など冬の天体や、月、土星を中心に観察します”
- お問い合わせは(0247-61-1546)まで。

## 編集後記

今年度も12月となり、残すところ4ヶ月で平成14年は残すところ1ヶ月を切っています。今年も色々あったな~(特に業務について)と編集後記を書くことによって、思い返す機会を与えてもらうことができます。まだ、平成14年もまだ少しの期間ではありますが、残っていますし、年度末まではまだ期間も長いことから、本年及び今年度も気合いを入れ直してがんばっていきたく思います(いろいろな意味で.....) (矢倉)



## 編集・発行

国土交通省  
東北地方整備局  
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字

西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>

